



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月8日

上場会社名 株式会社 エスイー 上場取引所 東  
 コード番号 3423 URL http://www.se-corp.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森元峯夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 塚田正春 TEL 03-3340-5500  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	8,112	10.5	359	136.5	377	166.7	203	240.0
25年3月期第2四半期	7,343	12.3	151	—	141	—	59	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 260百万円 (428.2%) 25年3月期第2四半期 49百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	13.60	—
25年3月期第2四半期	7.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	17,834	7,057	39.5	471.68
25年3月期	19,750	7,021	35.5	469.10

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,053百万円 25年3月期 7,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,700	8.0	1,129	6.0	1,160	9.8	670	9.3	44.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(注) 当社グループの業績の主要な部分は、土木建設用資材の受注生産であり、主に公共関連工事に使用されております。このため、経営成績は公共投資の動向に影響を受けると同時に、業績は下半期に偏る傾向があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	15,628,300株	25年3月期	15,628,300株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	674,218株	25年3月期	674,218株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	14,954,082株	25年3月期2Q	7,676,573株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀による金融緩和への期待感から、円安・株高の流れを背景に企業収益が改善するなど景気回復に向けた明るい兆しが見え始めました。一方、所得環境の改善の遅れや、円安からくる原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境のもと当社グループでは、建設業界での公共投資の減少による市場規模の縮小等の困難な問題に対処すべく、中・長期的な安定収益の確保と経営基盤の強化として、次のような取り組みを行ってまいりました。

- 成長市場としての「補修・補強市場」への積極的な事業展開
- 海外（ベトナム）建設市場での事業展開（ハロン～ハイフォン道路Bach Dang橋整備事業）
- PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ＝公民連携）への積極的な取組
- 新製品開発：超高引張強度コンクリート「ESCON（エスコン）」の研究開発
- 事業拡大のためのM&Aによる新事業分野の開拓
- 東日本大震災からの復興に呼応するグループの事業展開

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は81億12百万円（前年同期比10.5%増）と増収となりました。利益面では、株式会社エスイー及び各連結子会社において活況な受注・工事量に支えられ、工場製品の売上が増加したことによる利益の増加があり、営業利益3億59百万円（前年同期比136.5%増）、経常利益3億77百万円（前年同期比166.7%増）、四半期純利益2億3百万円（前年同期比240.0%増）となり大幅な増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (建設用資機材の製造・販売事業)

この事業では、環境防災分野において、一昨年に近畿地区で発生した台風12号災害に伴う復旧工事での製品納入があったことや政権交代に伴う公共工事の景気浮揚策の追い風もあり、特に法面、港湾、砂防堰堤などの工事に使用される「アンカー」の販売が順調に推移いたしました。また、工事現場での職人不足による影響が潜在化しているなか、工場製品である「KIT受圧板」の売上高が前年同期に比べ増加いたしました。

橋梁構造分野においては、前年同期は個別大型物件としての「斜材ケーブル（FUT-H型）」の納入がありました。当第2四半期累計期間においては物件がないため、前年同期に比べ売上高が減少いたしました。

この結果、この事業の売上高は47億円（前年同期比9.8%増）、営業利益は2億83百万円（前年同期比88.1%増）の増収増益となりました。

#### (建築用資材の製造・販売事業)

この事業では、依然として建築用資材市場において、東北・首都圏市場とも躯体工事に従事する職人の慢性的不足が解消されず工期遅延が生じているものの、建築工事量は増加傾向であり、主に首都圏市場においての資材販売が順調に推移いたしました。また、製造コストの面では、円安の影響と国内市場の原材料価格上昇による圧力がかかるなか、抑制および低減の努力を続けてまいりました。

この結果、この事業の売上高は24億48百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は1億77百万円（前年同期比24.2%増）の増収増益となりました。

#### (建設コンサルタント事業)

この事業では、連結子会社である株式会社アンジェロセックの海外展開による継続受注物件の施工管理業務である「コンゴ民主共和国キンシャサ市ポワ・ルー通り改修4車線化SV」や、現地調査業務である「東ティモール国全国国道網の脆弱性に係る情報収集・確認調査」などの受注消化活動を展開いたしました。

この結果、この事業の売上高は2億71百万円（前年同期比2.1%減）、営業損失は45百万円（前年同期は71百万円の営業損失）となりました。

#### (補修・補強工事業)

この事業では、「国土強靱化」を掲げる自民党の政権復帰や社会インフラ老朽化対策の推進を背景に、事業を積極展開しており、建設需要全体の増加による資材費の高騰や労務・技術者不足の問題への対応を図りながら、事業エリアの拡大策として近畿圏への進出を推し進めております。

この結果、この事業の売上高は6億92百万円（前年同期比62.2%増）、営業利益は35百万円（前年同期は34百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は178億34百万円（前連結会計年度末比19億15百万円減）でありました。内訳は、流動資産122億93百万円（前連結会計年度末比19億34百万円減）、有形固定資産37億21百万円（前連結会計年度末比45百万円減）、無形固定資産3億47百万円（前連結会計年度末比33百万円減）、投資その他の資産14億71百万円（前連結会計年度末比97百万円増）でありました。減少の主な要因は、前連結会計年度末に集中した売掛債権の回収が進んだことにより、受取手形及び売掛金が16億51百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は107億76百万円（前連結会計年度末比19億52百万円減）となりました。内訳は、流動負債が71億円（前連結会計年度末比11億25百万円減）、固定負債が36億76百万円（前連結会計年度末比8億26百万円減）でありました。減少の主な要因は、前連結会計年度末に集中した買掛債務の支払いが進んだことにより、支払手形及び買掛金が5億24百万円減少したこと、約定返済による長期借入金が6億31百万円減少、未払法人税等が2億1百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は70億57百万円（前連結会計年度末比36百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金が四半期純利益の計上による増加があったものの、株主配当金の支払による減少があり、利益剰余金は全体として20百万円減少しましたが、その他の包括利益累計額（その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定）が59百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して6億71百万円減少して36億96百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、8億66百万円でありました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が3億60百万円、売上債権の減少額16億51百万円等であります。主な資金の減少は、仕入債務の減少額5億24百万円、法人税等の支払額3億72百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、3億10百万円でありました。主な減少の要因は、定期預金の預入による支出1億89百万円、有形固定資産の取得による支出86百万円、投資有価証券の取得による支出33百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、12億28百万円でありました。主な減少要因は、長期借入の返済による支出8億7百万円、社債の償還による支出1億67百万円、配当金の支払額2億23百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点では平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,714,874	4,232,738
受取手形及び売掛金	7,682,187	6,030,938
商品及び製品	285,432	273,609
仕掛品	270,360	366,694
原材料及び貯蔵品	962,903	1,046,148
その他	382,466	406,644
貸倒引当金	△70,317	△63,519
流動資産合計	14,227,907	12,293,255
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,151,191	1,141,378
機械装置及び運搬具（純額）	279,488	251,788
工具、器具及び備品（純額）	51,193	56,123
土地	2,234,940	2,234,940
リース資産（純額）	43,665	37,391
建設仮勘定	7,056	—
有形固定資産合計	3,767,535	3,721,622
無形固定資産		
のれん	133,334	122,432
その他	247,585	225,467
無形固定資産合計	380,919	347,899
投資その他の資産		
投資有価証券	819,364	918,810
その他	575,362	573,637
貸倒引当金	△20,774	△20,753
投資その他の資産合計	1,373,953	1,471,694
固定資産合計	5,522,408	5,541,217
資産合計	19,750,315	17,834,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,011,534	4,487,462
短期借入金	280,522	280,522
1年内返済予定の長期借入金	1,485,358	1,309,092
1年内償還予定の社債	334,000	334,000
未払法人税等	362,661	161,543
役員賞与引当金	15,000	—
賞与引当金	81,202	83,903
その他	655,904	444,166
流動負債合計	8,226,182	7,100,689
固定負債		
社債	623,000	456,000
長期借入金	2,808,254	2,176,658
退職給付引当金	265,682	262,444
役員退職慰労引当金	440,890	450,580
資産除去債務	44,001	44,397
その他	321,196	286,195
固定負債合計	4,503,024	3,676,275
負債合計	12,729,207	10,776,964
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,228,057	1,228,057
資本剰余金	995,600	995,600
利益剰余金	5,116,382	5,095,517
自己株式	△247,744	△247,744
株主資本合計	7,092,295	7,071,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,427	65,717
為替換算調整勘定	△119,727	△83,654
その他の包括利益累計額合計	△77,299	△17,936
少数株主持分	6,112	4,013
純資産合計	7,021,108	7,057,507
負債純資産合計	19,750,315	17,834,472



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	7,343,688	8,112,268
売上原価	5,466,199	5,835,737
売上総利益	1,877,489	2,276,530
販売費及び一般管理費	1,725,597	1,917,284
営業利益	151,891	359,246
営業外収益		
受取利息	404	476
受取配当金	1,359	31,802
受取手数料	7,261	4,987
受取家賃	8,872	8,872
持分法による投資利益	—	12,799
保険戻戻金	14,529	—
貸倒引当金戻入額	6,562	5,350
その他	9,262	10,249
営業外収益合計	48,252	74,538
営業外費用		
支払利息	44,044	39,939
売上割引	8,813	10,173
為替差損	2,225	115
寄付金	1,520	3,300
持分法による投資損失	1,835	—
その他	54	2,417
営業外費用合計	58,494	55,946
経常利益	141,650	377,838
特別利益		
固定資産売却益	—	2,246
受取保険金	—	2,000
特別利益合計	—	4,246
特別損失		
固定資産除却損	282	14,319
投資有価証券評価損	4,750	7,018
退職給付引当金繰入額	8,318	—
特別損失合計	13,350	21,338
税金等調整前四半期純利益	128,299	360,747
法人税等	71,904	159,399
少数株主損益調整前四半期純利益	56,394	201,347
少数株主損失(△)	△3,447	△2,099
四半期純利益	59,842	203,446

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,394	201,347
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,797	23,445
持分法適用会社に対する持分相当額	7,762	35,917
その他の包括利益合計	△7,035	59,362
四半期包括利益	49,359	260,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,807	262,809
少数株主に係る四半期包括利益	△3,447	△2,099

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	128,299	360,747
減価償却費	112,372	126,486
のれん償却額	10,902	10,902
固定資産除却損	282	13,931
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,750	7,018
持分法による投資損益 (△は益)	1,835	△12,799
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,686	△6,819
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,956	2,700
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△15,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	13,094	△3,238
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,710	9,690
受取利息及び受取配当金	△1,764	△32,278
支払利息	44,044	39,939
売上債権の増減額 (△は増加)	1,627,937	1,651,248
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△50,134	△167,756
仕入債務の増減額 (△は減少)	△742,886	△524,884
未払金の増減額 (△は減少)	△201,413	△140,314
前受金の増減額 (△は減少)	△155,897	39,659
その他	△80,737	△117,599
小計	728,038	1,241,632
利息及び配当金の受取額	21,061	32,278
利息の支払額	△44,156	△42,797
法人税等の支払額	△59,599	△372,746
その他	22,591	7,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	667,935	866,346
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△29,150	△189,292
有形固定資産の取得による支出	△64,238	△86,023
有形固定資産の売却による収入	—	2,246
無形固定資産の取得による支出	△11,510	△4,757
投資有価証券の取得による支出	△42,951	△33,400
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△5,110	△2,209
貸付けによる支出	△15,000	—
貸付金の回収による収入	112	3,085
保険積立金の解約による収入	39,329	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	37,493	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△91,025	△310,351

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△687,984	△807,862
社債の償還による支出	△127,000	△167,000
配当金の支払額	△153,371	△223,883
自己株式の取得による支出	△398	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,654	△6,587
割賦債務の返済による支出	△11,613	△22,757
財務活動によるキャッシュ・フロー	△885,022	△1,228,090
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	427
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△308,157	△671,667
現金及び現金同等物の期首残高	3,632,185	4,368,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,324,027	3,696,489

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事業	補修・補強 工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,280,914	2,355,163	276,987	426,635	7,339,700	3,987	7,343,688
セグメント間の内部売上 高又は振替高	4,240	—	7,320	1,650	13,210	—	13,210
計	4,285,154	2,355,163	284,307	428,285	7,352,910	3,987	7,356,898
セグメント利益又は損失 (△)	150,735	143,085	△71,903	△34,766	187,150	471	187,621

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バイオマス事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	187,150
「その他」の区分の利益	471
セグメント間取引消去	10,019
全社費用 (注)	△33,967
のれんの償却	△11,781
四半期連結損益計算書の営業利益	151,891

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	建設用資機 材の製造・ 販売事業	建築用資材 の製造・販 売事業	建設コンサル タント事業	補修・補強 工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,700,050	2,448,969	271,197	692,051	8,112,268	—	8,112,268
セグメント間の内部売上 高又は振替高	103,574	2,465	1,443	—	107,483	—	107,483
計	4,803,624	2,451,434	272,640	692,051	8,219,751	—	8,219,751
セグメント利益又は損失 (△)	283,466	177,742	△45,878	35,621	450,952	—	450,952

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	450,952
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	△2,701
全社費用 (注)	△78,102
のれんの償却	△10,902
四半期連結損益計算書の営業利益	359,246

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費等に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。